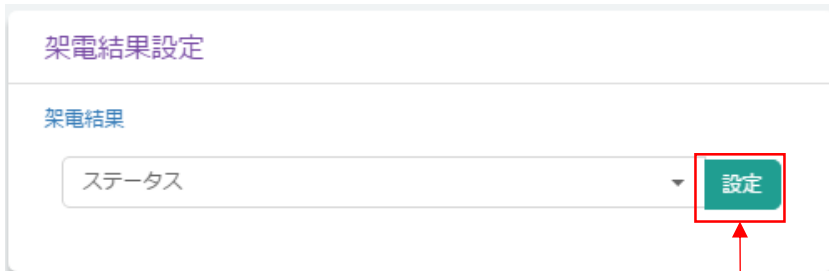


架電した結果のステータスと、ステータスの分析項目を設定できます。

<架電結果>

①架電結果設定

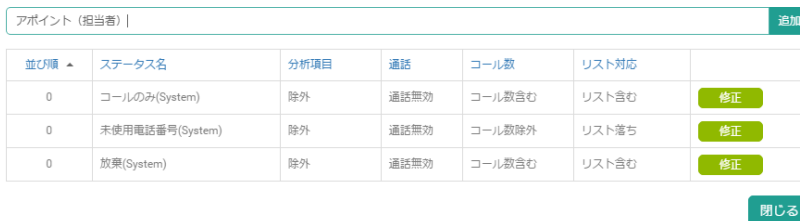


「設定」ボタン

①架電結果設定の「設定」ボタンをクリックします。

②ステータス入力

▲ステータス



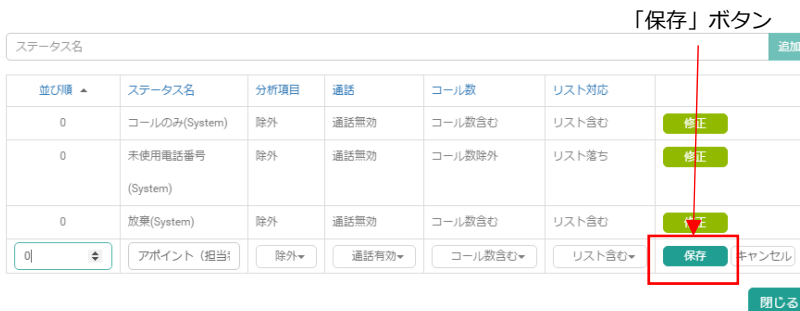
システムが自動的に付与する、3つのステータスが予め設定されています。

- ・コールのみ (System)
= 架電先との通話が確立できず、コールのみの場合に付与されるステータス
- ・未使用電話番号 (System)
= 電話番号が使用されていなかった場合に付与されるステータス
ただし、コール制御画面で「発信タイムアウト秒数」が40秒以上に設定されている必要があります。
- ・放棄 (System)
= システムで切断した通話に付与されるステータス
(待機中のOPがいない状態で、架電先との通話が確立された場合、約3秒でシステムが通話を切断します)

②架電した結果、OPが選択するステータスを入力・設定します。

③ステータス修正

▲ステータス



- ・分析項目
= ステータスを分析する際、分析対象として「除外」する・「受注」として分析する・「見込み」として分析する・「所属見込み1」として分析する、「所属見込み2」として分析する、のいずれかを設定します。
- ・通話
= OPと架電先の通話を、有効な通話とする「通話有効」・無効な通話とする「通話無効」、のいずれかを設定します。
- ・コール数
= システムがプレディクティブコールした、数に含む「コール数含む」・数に含まない「コール数除外」、のいずれかを設定します。
- ・リスト対応
= 選択したステータスの結果、架電禁止とする「リスト落ち」・次回の架電を許可する「リスト含む」、のいずれかを設定します。

③追加したステータスの初期設定は以下の通りです。

- 並び順 = 0
- 分析項目 = 除外
- 通話 = 通話有効
- コール数 = コール数含む
- リスト対応 = リスト含む

こちらを任意に変更して、「保存」をクリックします。

※ポイント
並び順“0”の場合、先頭に表示されます。

※ポイント
「見込み」と「所属見込み」の違いは下記の通りです。

「見込み」= OP個人の見込みとし、担当OPと管理者以外には表示されない。

「所属見込み」= OPが所属しているチームや部署などの見込みとされ、担当OPと同じ所属であれば見ることができると。